

# 電動4tトラックの実用化

— eトラックの運行データの評価研究 (H27) —

愛媛県産業技術研究所 技術開発部 主任研究員 武田 直樹

本研究では、日本郵便輸送株式会社で実証試験を行っているeトラックの試験走行時におけるLiBモジュールの電圧測定、補機用モータ消費電力測定等のデータをもとに実用化に向けた評価と問題点の抽出及び検討を行いました。



基本仕様		
項目	既存車両	電動化後
最大出力	140kw/2600回転	220kw/4000~6000回転
最大トルク	520Nm/1600回転	700Nm/0~6000回転
充電時間(急速)	—	1時間(CHAdeMO方式、50kwh)
最大積載量	3750kg	3150kg(目標3750kg)
電池	—	リチウム電池(容量50kwh)
一充電走行距離	—	100km

※全長、全幅、全高、乗車定員の変動なし

実証運行データを分析することで、バッテリー・モータ等の仕様を最適化するための知見を得ることができました。今後は、実際の運行形態に即した厳しい条件での実証運行をし、商用化に向けた実証研究を継続します。

本研究は、共同研究により実施しました。  
(共同研究先 三共オートサービス(株))